

# 奥茶臼山 (南アルプス、2474M、日本三百名山)

# 登山

10/29 (土) に単独で登りました。埼玉県と同僚のU氏との計画でしたが、10/22～23 が天候で延期になり、今回も天候で中止になりましたが、どうも天気良さそうなので、私は決行しました。U氏は近日中に天候の良い日に登山するとの事です。U氏とはここ2年、毎年1回一緒に登山していて、私は内心毎年一回は彼と登山をしようと思っていたので、今年も登山シーズンも終わりで、途切れてしまい残念です。

10/28 15:45 の勤務終了後すぐ出発予定が急に予定外の残業を頼まれてしまう。一度は断ったが、欠員状況で大変だろうと思い承諾しました。登山口のしらびそ高原に19:00 到着予定が大幅に遅れてしまいました。

豊科 I C 18:40～20:00 松川 I C～21:30 しらびそハイランドホテル P(車中泊)

松川 I C から矢筈トンネルまでは登山で何回も走っているのですが、とても分かりづらい。しかも時間がかかる。今回も1時間かかった。矢筈トンネルからしらびそ高原は21KM。案内板が完備していて、夜でも分かる。完全舗装の幅も広い道です。ホテルのすぐそばのトイレのそばに駐車する。かなり冷え込みそうだし、建物の近くのほうが良さそうなので。時間も遅いしすぐ途中で購入した缶ビール 500ML と持参した菊水ふなくちを2缶を飲んで寝る。

10/29 (土) 5:55～5:57 しらびそ峠 (1833M) 6:10～7:40 尾高山 (2212M) 7:45～8:20 奥尾高山 (2268M) 8:25～9:00 あと3KM地点 9:10～9:20 岩本山～9:35 あと2KM地点 ～10:35 奥茶臼山 11:35～12:20 岩本山 12:30～13:20 奥尾高山 13:30～14:10 尾高山 14:15～15:00 前尾高山 (2089M) 15:05～15:30 しらびそ峠 (今朝はまだうす暗くて、景色や写真を撮ってないので、峠としらびそホテル今辺の散策と写真撮影) 16:00～17:10 飯田 I C ～18:35 豊科 I C～19:00 自宅 総走行距離 320KM。

しらびそ高原ハイランドホテルとトイレ

(下山後撮影)



しらびそ峠(下山後撮影)



しらびそ峠からの南アの展望(下山後撮影)



登山口・峠の入り口にあり



5:00 前には目が覚める。朝食を食べて、トイレを済ませてしらびそ峠へ移動する。5台ほどの車があり、登山の用意をしている人たちが6人程いる。タイツを脱いでトレッキングタイツに外で着替えるがそんなに寒いとは感じない。かなり冷え込んだ筈だが。小さな可愛い犬を連れた人が2組前後して歩く。登山道は最初の少しはカラマツの紅葉ともみじが少し紅葉していたが、それから先は全く広葉樹無。しらびそ、とうひなどの針葉樹林帯がえんえんと山頂まで続く。足元は苔とシダ。しかも山頂までその樹林に阻まれて、展望は基本的に無い。3か所の「ビューポイント」も南アの一部が見えるだけ。せっかくの快晴だというのに。急な坂は山頂手前など3か所ほどで緩やかな土の歩きやすい登山道が続く。ただアップダウンが多い。

尾高山山頂



こういう山は私は嫌いだ。登りは登り、下りは下りのハッキリした登山道が好きだ。こういう山は下山時に疲れると思う。昔、この山は青木林道を延々3時間ほど林道歩きをして山頂を極めた。今はこの登山道が主流になった。2007年にこの登山道は開通したようだが、まだ4年ほどにしては良く踏まれた感じの登山道です。苔むした原生林の雰囲気です。テープが沢山あるので迷う事はないと思います。川上村近辺の山に28~29と登っている

N氏から電話がくる。こんなに奥に入ってもこの地区は携帯が圏内である。彼も昨日は南相木村(標高1400M位)で車中泊したがとても寒かった、窓ガラスが凍ったがそっちはどうだったか?と聞かれる。私の所は1900Mだったが、そんなに寒さを感じなかった。やはり信州でも南のせいかな?何しろこの下の上村ではお茶の栽培が盛んである。途中で単独の年配者に追い抜かれる。山頂直下の急坂の始まり地点でその方が下山してきた。



名古屋からの山好きの方。健脚者だ。ネットで見た通り山頂の先の急坂を下ると展望の良い場所があると教えてくれる。この地区の登山者は関東は少なく、中京、関西、浜松方面からが多い。その先に展望の効く場所があり10分ほど眺める。

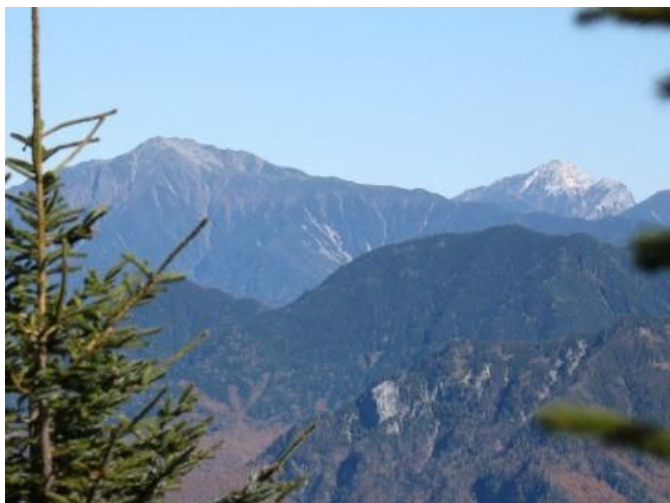
韓国語もあり



苔むした針葉樹林帯の登山道



山頂直下で甲斐駒ヶ岳と千丈ヶ岳



奥茶臼山山頂



尾高山付近の1箇所だけで望める奥茶臼山



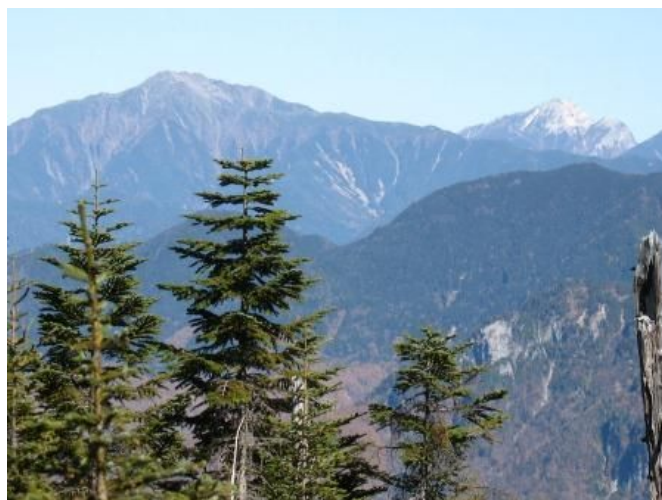
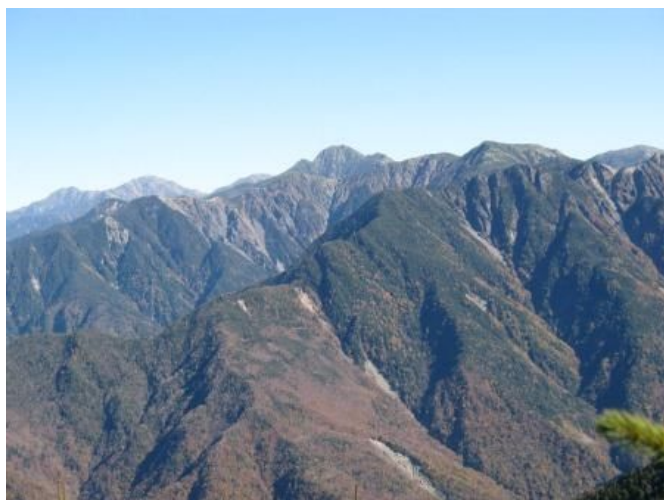
山頂で写真を撮っていると途中で抜かれた犬を連れのご夫婦がその展望地から戻ってきた。展望の良さに感動した。と言う。私も行く事にする。見下ろすと眼下にそれらしい平地が見えるし、大した距離ではない。踏み跡もついているが適当に下る。昔の伐採地の集積場の感じで潰れた小屋の跡もあるし、テレビが野ざらしで置いてあった。



確かに素晴らしい展望だ。中央アルプスが全て見える。北アルプスもうっすらと。反対側は南アルプスの全景。眼下には青木林道が見える。懐かしい鬼面山～戸倉山の山並みも。甲斐駒ヶ岳は雪を抱いたように真っ白だ。昼食をとりながら、ユックリ地図を広げて展望を楽しむ。風もなく快晴。

右から聖岳、赤石岳、荒川岳、塩見岳、農鳥岳、間ノ岳、北岳

右は甲斐駒ヶ岳、左は千丈ヶ岳



「ここで展望を見ずして、奥茶臼山を語るな！」と私は思った。この展望を見なければ（きつとここまで下る人は全体の2割位？ネットで見るか、人に聞かないと）奥茶臼山の感想は「つまらない、2度と登りたくない山」であろう。ネットで見ても週末といえども登山者は1～2組程度のようなのだが今日は単独～2人、3パーティでした。山頂から下る時に登ってきた2組には「山頂から先に下ると展望の良い所がありますよ」とおせっかいで教えてやった。それから峠まで誰にも合わない静かな山行、矢張り帰路の登りは疲れる。だいたい今日は朝から体が重かった。減量が必要だがなかなか体重が減らない。しらびそ峠、しらびそハイランドホテル近辺は土曜日で紅葉の時期でもあり、大勢の観光客がいた。帰路は飯田IC経由を利用してみた。今回は往復とも高速道路は時速85KM位の省エネ運転をしてみた。時間はかかるが運転も楽だ。それにしてもU氏と一緒に登山したかった。天候も良かったし残念。

深田久弥が「南アルプスの重鎮」と言った 塩見岳

中央アルプスを望む

